

仙台奥羽ロータリークラブ

2022-2023

活動計画書

目次

1	クラブ資料	2
2	仙台奥羽ロータリークラブ組織図	3
3	仙台奥羽ロータリークラブ役員・理事・委員名簿	4
4	会長方針	5
5	幹事方針	7
6	予算（2022年7月～2023年6月）	8
7	各委員会事業計画・予算	9
	1) 会員増強委員会	
	2) ロータリー財団委員会	
	3) クラブ管理運営委員会	
	4) 公共イメージ委員会	
	5) 奉仕プロジェクト委員会	
8	会員名簿	11
	1) チャーター会員	
	2) 職業分類	
	3) 会員の移動	
	4) 賛助会員	
9	仙台奥羽ロータリークラブ諸細則	13
10	仙台奥羽ロータリークラブ法人会員細則	16

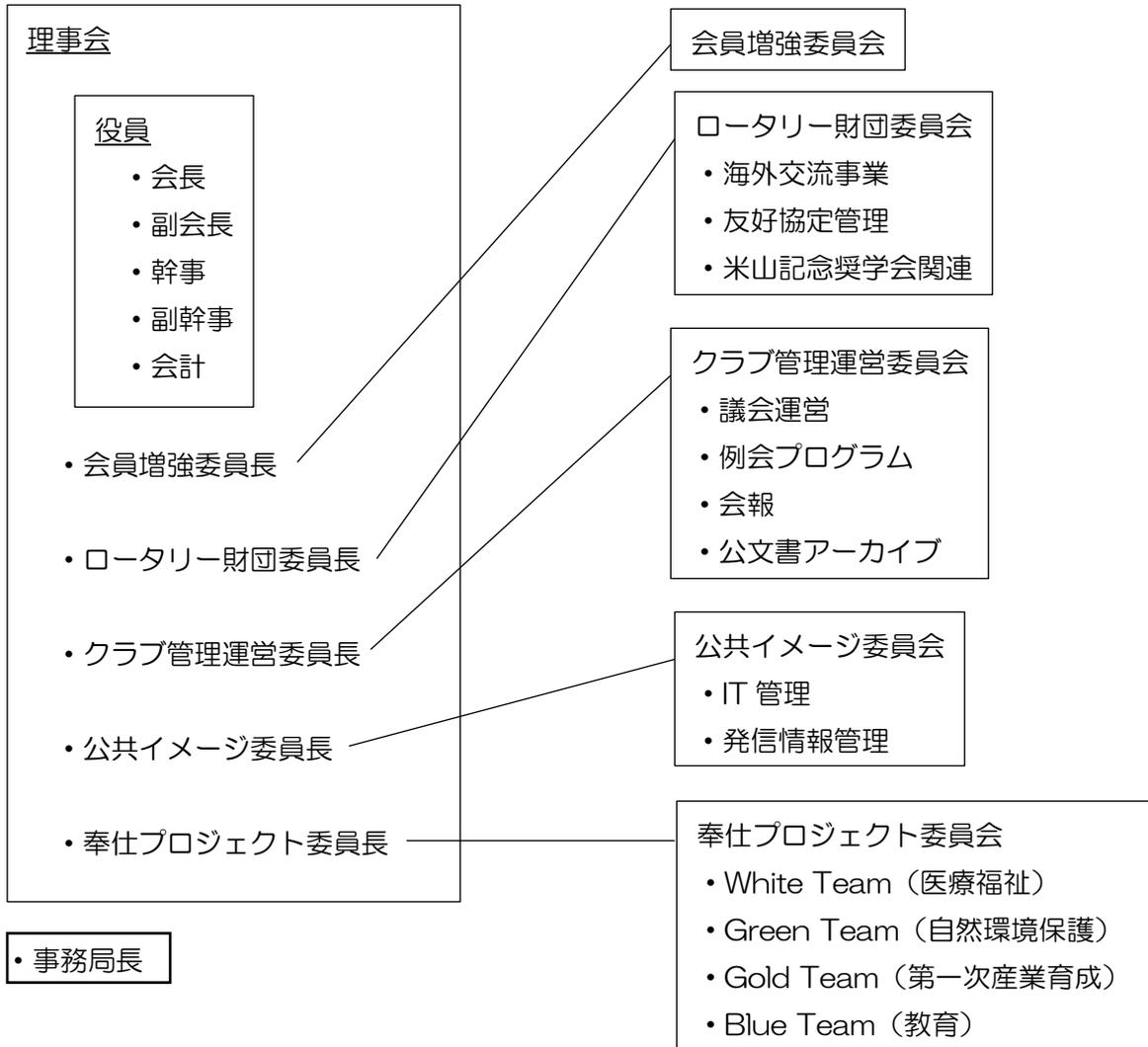
補遺：仙台奥羽ロータリークラブ定款は標準定款を採用しています。

1 クラブ資料

- 1) 創立 2021年7月1日
- 2) 例会場 医療法人総志会 モークシャタウンホール
- 3) 例会日時 毎週火曜日 午後7時より（第5週火曜日を除く）
- 4) 使用言語 日本語または英語
- 5) ホームページURL <http://so-rc.jp>
- 6) メールアドレス sorc@munakata-cl.jp
- 7) 事務局
〒989-3123 仙台市青葉区下愛子字観音堂 1-1 医療法人総志会内
TEL 022-399-6876
FAX 022-399-6877
事務局員 宗像恵
- 8) 会員（2022年7月1日現在）
正会員 23名
賛助会員 25名
- 9) 褒賞
2022年4月17日
国際ロータリー第2520地区 ガバナー賞受賞
・RLI参加賞
・「My ROTARY」アカウント登録を推進したクラブ
国際ロータリー第2520地区 ガバナー特別賞受賞
「新型コロナウイルスワクチン接種促進プロジェクト」

2 仙台奥羽ロータリークラブ組織図

(2022年5月10日承認)



3 仙台奥羽ロータリークラブ役員・理事・委員名簿

役員

会長 林宙紀
副会長 鈴木壘
幹事（会長エレクト） 菅原宣和
副幹事 上原研一
会計 堀裕之

理事

林宙紀 鈴木壘 菅原宣和 上原研一 堀裕之
伊藤将 櫻田敦彦 成瀬麻紀 沼田孝彦 香野朋広

委員会

会員増強委員会

委員長 伊藤将 副委員長 桶谷裕人

ロータリー財団委員会

委員長 櫻田敦彦 副委員長 岩本日出貴

クラブ管理運営委員会

委員長 成瀬麻紀 副委員長 新森一弘

公共イメージ委員会

委員長 沼田孝彦 副委員長 佐藤良幸

奉仕プロジェクト委員会

委員長 香野朋広 副委員長 久世尚志

White Team 米山卓哉 黒澤大輔

Green Team 熊谷修 宗像靖彦

Gold Team 岩淵雄司 田村祐子

Blue Team 田仲智子 志村雄彦

事務局長 宗像靖彦

4 会長方針

2022-2023 仙台奥羽ロータリークラブ会長 林宙紀

【キーマッセージ】 People of Action -The First Step

人が何らかの成果を求めるためには、思考するだけでなく、行動に移す必要があります。近年、「多様性」「持続可能な発展目標(SDGs)」などの言葉が浸透してきましたが、「知っている」「何ができるか考えている」「いい考えを思いついた」だけでは、何ら変化は起きません。知る、考える、そして「行動する」を実践して、はじめて他人や社会を動かす力が生まれます。

仙台奥羽ロータリークラブは、“People of Action”の団体です。行動することで、地球環境保全への貢献、より良い地域社会の構築、世界平和の実現などが、単なる崇高な理念から、明確な目標として具現化します。失敗を恐れる必要はありません。行動に対して返ってくる結果がどうあれ、それを次なる行動の礎にして、一段の高みを目指せばよいのです。

設立から1年を経た仙台奥羽ロータリークラブは、いよいよ今年度、クラブの主軸たる事業を開始します。今年度が、まさしく行動を旨とするクラブの第1歩-The First Stepとしてふさわしい年度となるよう、熱く楽しく、事業を展開していきましょう。

【事業方針】

当クラブ事業のキーワード「共存」を念頭に、引き続き以下の3分野に注力します。

- ① 自然環境保護：水環境の保全（森林保護など）、海洋汚染対策、大気汚染対策等
- ② 第一次産業育成：人口の高齢化に伴う第一次産業衰退への対策、フードロス防止対策等
- ③ 教育：将来を担う人材の育成、「Compassion」の浸透等

これらを包括する事業として「漆の植樹活動」に着手します。植樹によりCO2削減や農地の活用を進めながら、ゆくゆくは植樹活動を通じた教育活動につなげていく方針です。

また、今年度は「面白そうだからやってみる」という場を作る考えです。事業として確たる計画のもとに取り組むことは重要ですが、小さなことから試しつつ、事業化の可能性を探ることも一つの方法です。何より奉仕活動は、参加メンバーが楽しめるものでなければ持続しません。来年度以降につながる事業の種を、楽しみながら見つけていける場を目指します。

奉仕活動は楽しいものである。クラブメンバーを含め、参加される人々が心からそう思える活動の具現化を、今年度の事業方針の根幹とします。

【会長プロフィール】

• 経歴及び職歴

1996年 仙台第一高校卒業

2002年 東京大学教育学部卒業

2004年 政策研究大学院大学修了（国際開発学修士）

2004年 ソニー株式会社財務部

2006年 関東メディア各局にてラジオ DJ ・ニュースキャスター等として活動

2012年～ 2014年 衆議院議員（1期）

2015年～ 経営コンサルタント（林宙紀事務所）

• ロータリー歴

2021年7月 仙台奥羽ロータリークラブ入会、同幹事および会長エレクト

5 幹事方針

2022-2023 仙台奥羽ロータリークラブ幹事 菅原宣和

コロナ禍に誕生した当クラブは、社会が活動を制限される中でも、例会などの活動にオンラインを採用する事で、着実に活動を重ね、仙台奥羽ロータリークラブの取り組みである3つの柱（自然環境保護・第一次産業育成・教育）やロータリークラブの活動理念（平和の推進・疾病との闘い・水と衛生・母子の健康・教育の支援・地域経済の発展）の共有をして参りました。

2年目に突入する今期は、進行中のURUSHI PROJECTを初め、いよいよ社会に対して意味のあるAction（行動）を起こす時です。

また、日々「職業奉仕」に勤しむ皆様ですので、Action（行動）すなわち「社会奉仕」「クラブ奉仕」において共有する時間は目的のあるもの、意味のあるもの、楽しめるものにしていきたいと考えます。

今期も宜しくお願い致します。

【幹事プロフィール】

・経歴及び職歴

2001年 岩手県立花巻南高等学校 卒業

2005年 法政大学経営学部経営学科 卒業

2012年 株式会社メディセオ 入社

・ロータリー歴

2021年7月 仙台奥羽ロータリークラブ入会、同クラブ管理運営委員長および会長ノミネー



収入

	名目	備考	単価	数	金額(円)
会費	正会員(法人含)		100,000	23	2,300,000
	新会員	後期分計上	50,000	2	100,000
	ビジター			0	0
	賛助会員(団体)		10,000	3	30,000
	新会員		5,000	1	5,000
	賛助会員(個人)		6,000	25	150,000
	新会員		6,000	5	30,000
助成金					
雑収入	利息等				
寄付金					

収入合計	2,615,000	・・・①
------	-----------	------

支出

	名目	内訳	単価(\$:円)	数	金額(円)
RI関連への拠出	RI分担金(年)	35\$×2回=70ドル×人数×127円(為替)	\$35	46	204,470
	R財団_基金(年)	3000円×人数_前期、後期	¥3,000	46	138,000
	地区分担金前期・後期		¥12,500	46	575,000
	地区大会登録料		¥10,000	6	60,000
	米山記念奨学会前期・後期(寄付)		¥1,000	46	46,000
	研修参加費等				50,000
	幹事会・記念式・行事参加費				30,000
	義援金・寄付金等(予備費)		¥1,000	46	46,000

小計	1,149,470	・・・②
----	-----------	------

	名目	内訳	単価(\$:円)	数	金額(円)
委員会・例会 活動費	例会費(謝金、講演料等)	外部講師招聘費用			100,000
	研究費	(研究材料購入等、例; ミツロウラップや漆)			100,000
	公共イメージ委員会	Web 維持・管理費			300,000
		予算枠(@19800円×12ヶ月+α)			
	会員増強委員会	広報紙制作・印刷費等			200,000
	奉仕プロジェクト委員会	活動費として暫定計上			300,000
財団委員会	プロジェクトは別途				

小計	1,000,000	・・・③
----	-----------	------

	名目	内訳	単価(\$:円)	数	金額(円)
	備品費	封筒等、名簿、会員章、名刺、事務用品等			200,000
	賃借料	今期なし			0
	通信費	切手・郵送費			80,000
	旅費交通費	外部RC参加時			60,000
	支払手数料	振込手数料			20,000
	慶弔費・交際費	会員への慶弔見舞等			30,000
	その他雑費	上記以外			30,000

	420,000	・・・④
--	---------	------

支出合計	2,569,470	・・・⑤=②+③+④
------	-----------	------------

単年度収支(見込)	45,530
-----------	--------

(見込み)

前年度繰越	1,350,000	次年度繰越	1,395,530	・・・⑥=①-⑤
-------	-----------	-------	-----------	----------

7 各委員会事業計画・予算

1) 会員増強委員会

- 当クラブの活動に賛同頂き、志を共に活動頂ける会員の増強を図る。
- 正会員 50 名規模のクラブ構成を目標とする。
 - ▷ 現メンバー 1 名につき、新規会員 1 名の入会勧誘を目指す。
- 賛助会員についても、50 名規模の構成を目標とする。
- 必要に応じ、クラブパンフレットの増刷や目的別パンフレット等の制作を行う。
- 公共イメージ委員会と連携し、HP や SNS を活用した積極的なクラブ情報の発信を行い、新規会員の獲得につなげる。

(予算額：20 万円)

2) ロータリー財団委員会

- 奉仕プロジェクト委員会(各 Team)と連携し、各種奉仕事業の推進と円滑化を図る
 - 漆事業に関する地区補助金申請の検討・実施
 - 漆事業における『サントリー 東北サンさんプロジェクト』への応募
 - その他新規事業における地区補助金獲得の検討と応募
- 事業予算の検証・監督
- 事業目的と会長方針との整合性の検証・監督
- 他 RC との友好協定締結関連作業・協定の管理
 - アメリカ RC of New Port Beach 等が候補
- 災害・紛争被害に見舞われた他 RC への支援の検討

(予算額：奉仕プロジェクト委員会と合算で 30 万円)

3) クラブ管理運営委員会

- 事務局と連携のもと例会・臨時例会・総会の円滑な運営
- 卓話(講演)・審議テーマの手配と事前案内
- 例会議事録、月報下書きの作成

(予算額：10 万円)

4) 公共イメージ委員会

- 当クラブへの入会を検討する見込みのある人へクラブの魅力を的確に届けるとともに、コミュニティ機能を盛り込み、会員間のコミュニケーションの機会を増やすための枠組みを構築する。
- HP、SNS を活用した積極的なクラブ情報の発信を行う。
- 会員増強委員会と連携し、HP や SNS の活用による効果的な新規会員獲得活動を展

開する。

(予算額：30 万円)

5) 奉仕プロジェクト委員会

- 自然環境保護、第一次産業育成、教育を中心に、持続可能な社会実現に向けた取り組みを行う団体、個人を支援するとともに、自らも社会奉仕を介し、サステナブルな社会の実現に資する活動を推進する。
- Green/Gold/White/Bule の各 Team 活動を本格化し、プロジェクトとしての奉仕活動の具体化と実践を行う。
- 「URUSHI PROJECT」を始動させ、各 Team の有機的な連携のもと、当クラブ基幹プロジェクトとして実践、推進する。
 - ▷ 漆植栽地の選定および利用形態（取得・借地等）に基づく契約の実施
 - ▷ 漆植栽活動の計画策定、実施および管理
 - ▷ 漆に関する啓蒙活動の計画、実施
 - ⇒ 植栽活動への一般参加等

(予算額：30 万円（ロータリー財団委員会と合算))

8 会員名簿

1) チャーター会員

雨宮悠天・千葉茂男・船渡忠男・林宙紀・堀裕之・伊藤将・色川冬馬・岩渕雄司・
久世尚志・熊谷修・黒澤大輔・香野朋広・三井範寿・宗像靖彦・成瀬麻紀・
沼田孝彦・櫻田敦彦・新森一弘・菅原宣和・鈴木壘・田仲智子・上原研一・
米山卓哉

2) 職業分類

- 1-1 医術：黒澤大輔
- 1-2 病院及び医療施設：宗像靖彦
- 1-3 医療従事者：伊藤将
- 1-4 医薬：成瀬麻紀・新森一弘・上原研一
- 1-5 医療器具及び機械：菅原宣和
- 1-6 福祉：堀裕之
- 1-7 福祉従事者：米山卓哉
- 2-1 印刷及び出版：佐藤良幸
- 2-3 写真：沼田孝彦
- 6-1 日用品雑貨：岩渕雄司
- 9-1 宝石（貴金属）：桶谷裕人
- 12-2 保険：櫻田敦彦
- 13-1 建設業：鈴木壘
- 14-1 情報、調査サービス：田村祐子
- 14-2 有資格職業：久世尚志
- 14-3 ビジネスサービス：林宙紀
- 14-4 コンサルタント、デザイナー：香野朋広
- 14-8 不動産業：岩本日出貴
- 16-1 スポーツ：田仲智子・志村雄彦
- 17-2 被服工業：熊谷修

3) 会員の移動

・退会

三井範寿（2021年8月24日） 千葉茂男（2021年9月21日）
雨宮悠天（2021年12月7日） 船渡忠男（2021年12月7日）
色川冬馬（2022年2月1日）

- 正会員登録

佐藤良幸（2021年12月8日）

田村祐子（2021年12月17日）

桶谷裕人（2021年12月21日）

岩本日出貴（2021年12月21日）

志村雄彦（2021年12月24日）

4) 賛助会員（2022年7月1日）

- 個人会員 22名

1口 20名

3口 1名

5口 1名

- 団体会員 3名

1口 3名

9 仙台奥羽ロータリークラブ諸細則（2021年7月13日）

改定 2022年6月12日改定

【正会員】

- 1) 入会にあたっては、当クラブ正会員2名以上の推薦を必要とする。
- 2) 新入会手続きは7月または1月とする。

【予備会員】

- 1) 正会員登録以前の入会希望者を予備会員とする。
- 2) 予備会員期間中は会費納入免除とする。

【賛助会員】

- 1) 当クラブの活動趣旨に賛同し、活動への参加を希望する市民、団体を賛助会員とする。
- 2) 賛助会員は当クラブ正会員1名以上の推薦を必要とする。
- 3) 賛助会員は当クラブ臨時例会、奉仕プロジェクト委員会会議、奉仕プロジェクト委員会内 Team への参加を可能とする。
- 4) 賛助会員は当クラブ独自の会員であり、賛助会員個人情報は当クラブ理事会において厳重に秘匿管理する。

【例会】

- 1) 原則として毎週火曜日 19 時よりハイブリッド開催とする。
- 2) 理事会の定める臨時例会及び会議、奉仕活動への参加をもってクラブ内メイクアップと認める。但し活動に際してはロータリー記章を装着することとする。
- 3) 第5火曜日は休会とする。
- 4) 第1火曜日または第2火曜日例会をクラブ協議会とする。
- 5) 正会員はクラブ事業に関する意見及び提案をクラブフォーラムにおいて表明し、議案としてクラブ協議会に諮ることができる。議案は、クラブ管理運営委員会に提出し、クラブ協議会開催前日までに会員に公知することとする。
- 6) 原則として定期例会後に理事会を開催する。
- 7) 例会・臨時例会のビジター・メイクアップ規定
 - ・参加費は徴収しない
 - ・会場参加またはリモート参加が可能である
 - ・参加希望者は例会開催48時間前までにクラブ事務局に電子メールまたはFAXを送付することとする。
- 8) 毎月第一日曜日 8 時より、臨時例会を開催する。この例会は、医療法人総志会が

主催する「MR オープンカフェ第一部」を共催することによって充てられ、クラブ内メイクアップ対象とする。

- 9) 例会のメイクアップについては 1 単位を 1 例会分とし、以下をクラブ内メイクアップ対象とする。
- ・委員会参加 1 単位
 - ・クラブ事業参加 1 単位（午前と午後にわたる事業は 2 単位）
 - ・調査活動及び報告 2 単位

【役員】

- 1) 副幹事も役員に含める。
- 2) 当クラブでは会場監督を置かない。
- 3) 役員はクラブ運営に必要な調査等を会員に依頼することができる。
 - ・依頼内容・調査結果は理事会に報告するものとする。
 - ・調査等を担当した会員は調査に要した時間を、クラブ内メイクアップに充てることができる。

【委員会】

- 1) 委員会会議開催は委員長の権限とし、会議参加をもってクラブ内メイクアップに充てることができる。会議議事録を作成し、理事会に提出することとする。
- 2) 会長は、委員会会議開催を委員長に要求することができる。
- 3) 奉仕プロジェクト委員会に以下の 4 部門を設置する
 - ・White Team：医療衛生関連奉仕を目的とした活動を行う。
 - ・Green Team：自然環境保護及び Global Climate Pledge 関連奉仕を目的とした活動を行う。
 - ・Gold Team：第一次産業育成関連奉仕を目的とした活動を行う。
 - ・Blue Team：教育関連奉仕を目的とした活動を行う。
- 4) 奉仕プロジェクト委員会内 4 部門は、それぞれ正会員のチームリーダーが統括する。
- 5) ロータリー財団委員会はロータリー米山記念奨学会関連事業を担当する。

【クラブ事務局】

- 1) クラブ事務局はクラブ内総務を担当し、理事会による円滑なクラブ運営を補佐する。
- 2) クラブ事務局長（Secretary General）はクラブ事務局業務全般を統括する。
- 3) クラブ事務局長は会長により 1 名指名され、任期は最長で 3 年とする。
- 4) クラブ事務局長は役員・理事を兼任することはできない。

【会費】

- 1) 正会員の年会費を 10 万円とする。
- 2) 会費は一括または半期ごとの期日までに 5 万円を支払うものとする。
- 3) 会費より半期あたり 1000 円を米山記念奨学事業協力費として充当する。
- 4) 会費より半期あたり 3000 円をロータリー財団寄付金として充当する。
- 5) 出資する寄付金が米ドルの際、日本円で承認された金額は 100 円あたり 1 米ドルとして承認を受けたものとみなす。
- 6) 賛助会員半期年会費を以下に規定し、半期ごとの期日までに支払うものとする。
18 歳未満 ー□ 1000 円
18 歳以上 ー□ 3000 円
団体 ー□ 5000 円
- 7) 賛助会員会費は、会員の希望により「目的会費」として奉仕プロジェクト委員会内の個別 Team 予算に組み入れることを可能とする。

【寄付】

- 1) 当クラブは善意の寄付を受けることができる。

【公式文書】

- 1) 当クラブの公式文書は英文にてアーカイブされることとする。

2021 年 7 月 13 日 承認
2021 年 7 月 20 日 改定
2021 年 8 月 3 日 改定
2021 年 8 月 10 日 改定
2021 年 8 月 17 日 改定
2021 年 8 月 31 日 改定
2021 年 9 月 14 日 改定
2021 年 10 月 26 日 改定
2021 年 12 月 28 日 改定
2022 年 5 月 10 日 改定
2022 年 6 月 12 日 改定

10 仙台奥羽ロータリークラブ法人会員細則（2021年7月1日）

企業の社会的責任に対する重要性が高まる中、当クラブは法人会員のオプションを創設し、仕組みの整ったロータリーを通じて、法人は地域社会に還元するためのプロジェクトに参加することができる。

仙台奥羽ロータリークラブは、企業、専門職事務所、行政機関、教育機関、のための法人会員プログラムを設けている。

1. 資格要件。

いかなる企業の従業員も仙台奥羽ロータリークラブの法人会員となる資格を有する。

2. 会員。

クラブ理事会の承認を得た上で、企業は 仙台奥羽ロータリークラブの会員となる従業員を、最大3名まで、代表会員または補欠会員として指定できる。

3. 出席。

クラブへの出席と参加の要件は、いずれの会員によっても満たすことができる。

全会員（代表および補欠）は、当クラブまたは当クラブが決定した他のロータリークラブの例会に出席する資格を有する。

4. 会費・分担金。法人の会費は正会員と同額とする。

但し

① 補欠会員を登録する場合代表者の代理を主とする場合の補欠登録は
会費は不要

② 代表者と同様に会員活動を行う場合は、正会員と同額とする。

但し、ロータリー会合に複数の法人会員が出席する場合、追加会員の食事代は別途支払うことが義務づけられる。

5. RI登録。

代表会員のみを、クラブの正式な会員として登録する

6. 投票と定足数。

会合全般とクラブの議題において、法人会員は代表のみ投票権を有する。

7. 役職の就任。

法人会員は代表のみ役職に就くことができる。

8. 会員重複の禁止

個人正会員と法人会員の重複はできない。